

吾妻山

○概況

火山活動はやや活発な状態ですが、引き続き低下傾向にあります。

地震回数はやや多い状態にあります、1 月を最多に減少傾向が続いています。

また、大穴火口（一切経山南側山腹）付近の噴気の状態に大きな変化はみられませんでした。

地震活動の状況

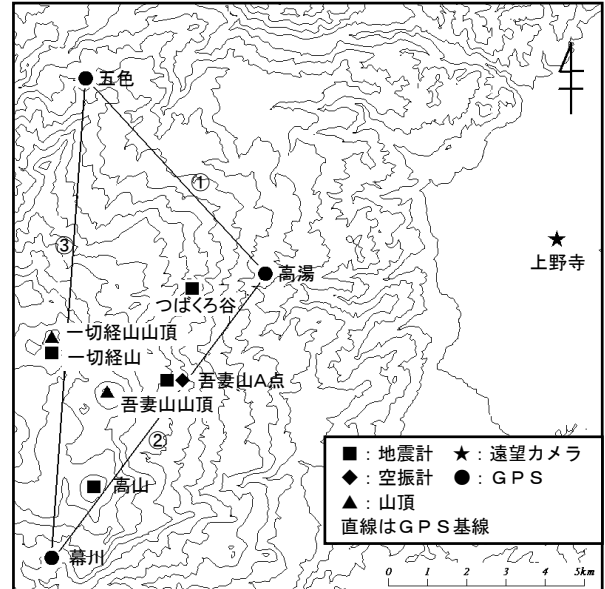
昨年 12 月に始まった地震活動の活発な状態は、今年 1 月の月合計回数 846 回を最多に、3 月 105 回、4 月 147 回、5 月 116 回と、消長を繰り返しながら減少傾向が続いています。なお、精度よく震源が求まる規模の地震はありませんでした。

火山性微動はありませんでした（4 月 1 回）。

モホ面付近（深さ 30km 前後）が震源とみられる低周波地震は 1 回観測されました（4 月 4 回）。

噴気活動の状況

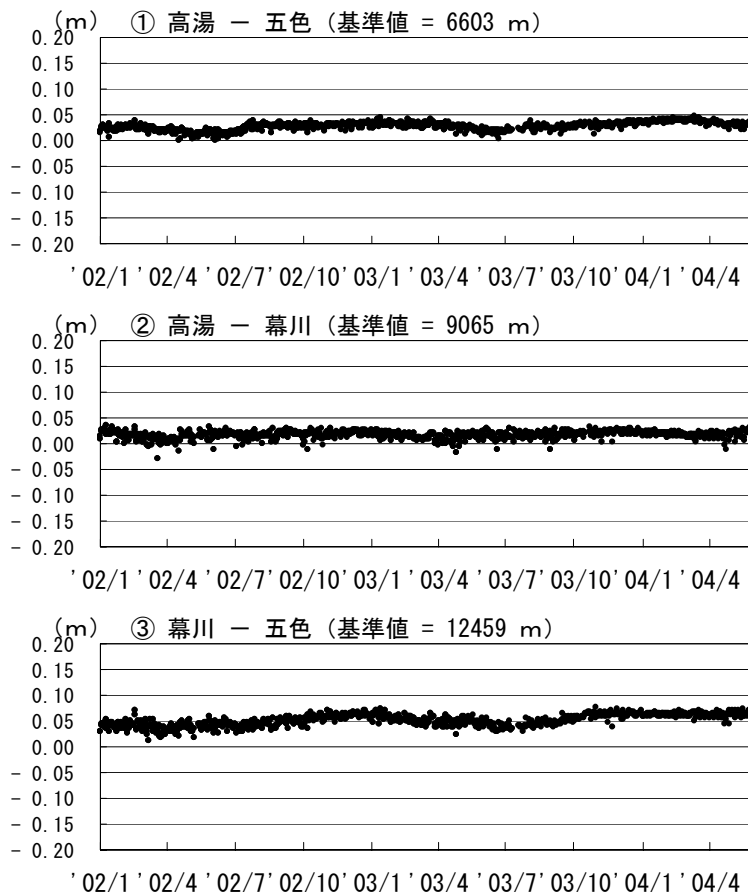
遠望観測（監視カメラ）では、大穴火口付近の噴気の高さは 30m 以下で推移しており、噴気の状態に大きな変化はみられませんでした。



吾妻山火山観測点配置図

地殻変動活動の状況

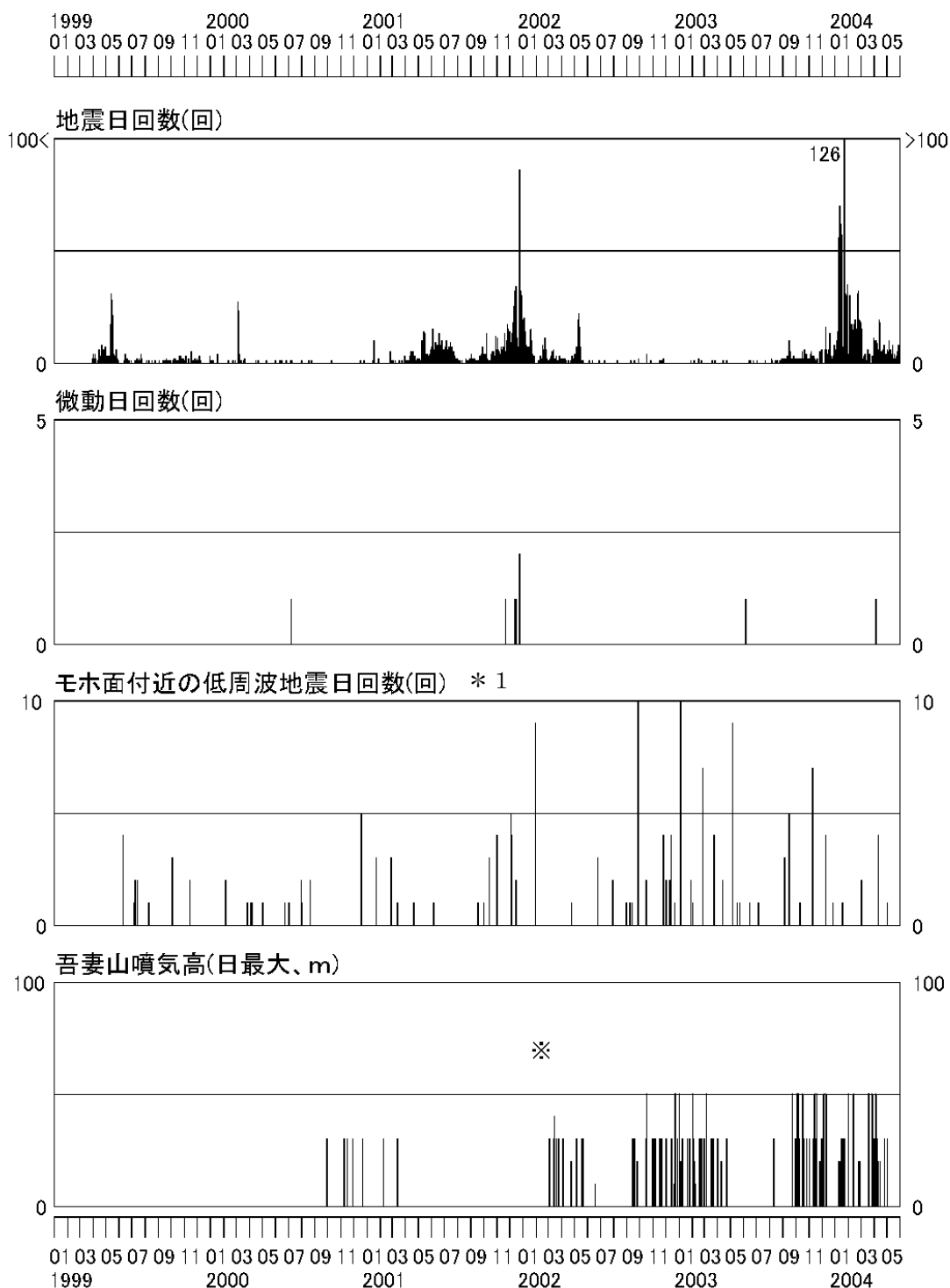
GPS による観測では、火山活動によると考えられる変化はみられませんでした。



GPS 基線長変化図 (2002. 1~2004. 5)

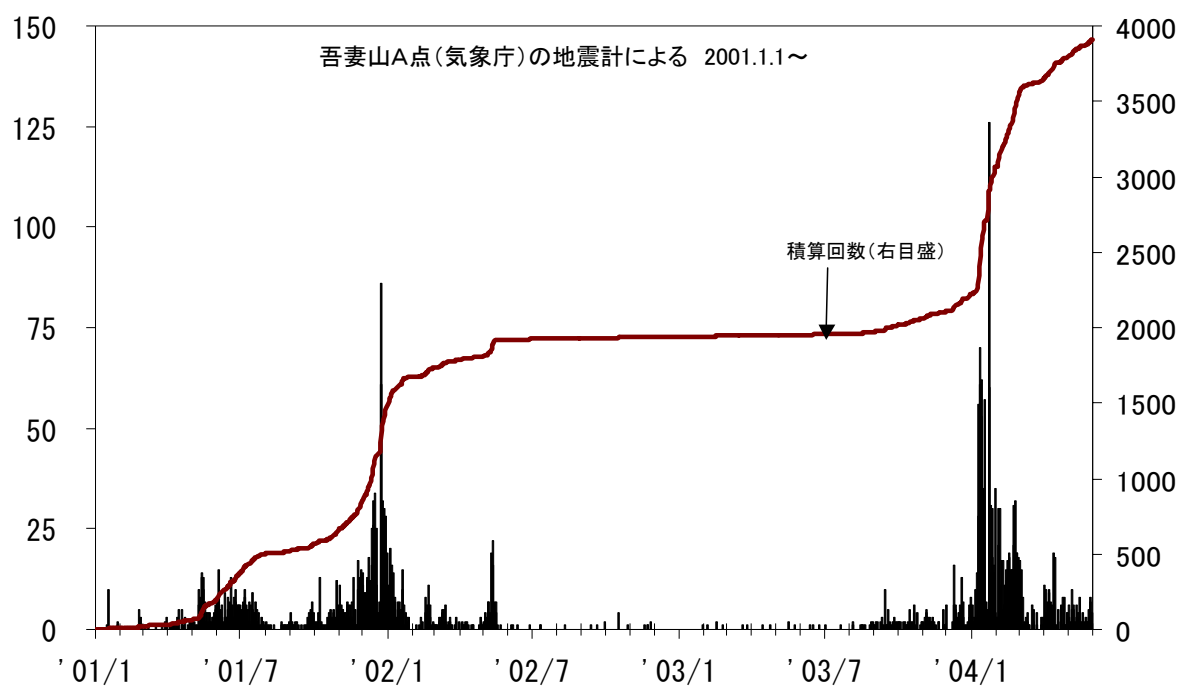
吾妻山 活動一覽

1999/01/01～2004/05/31

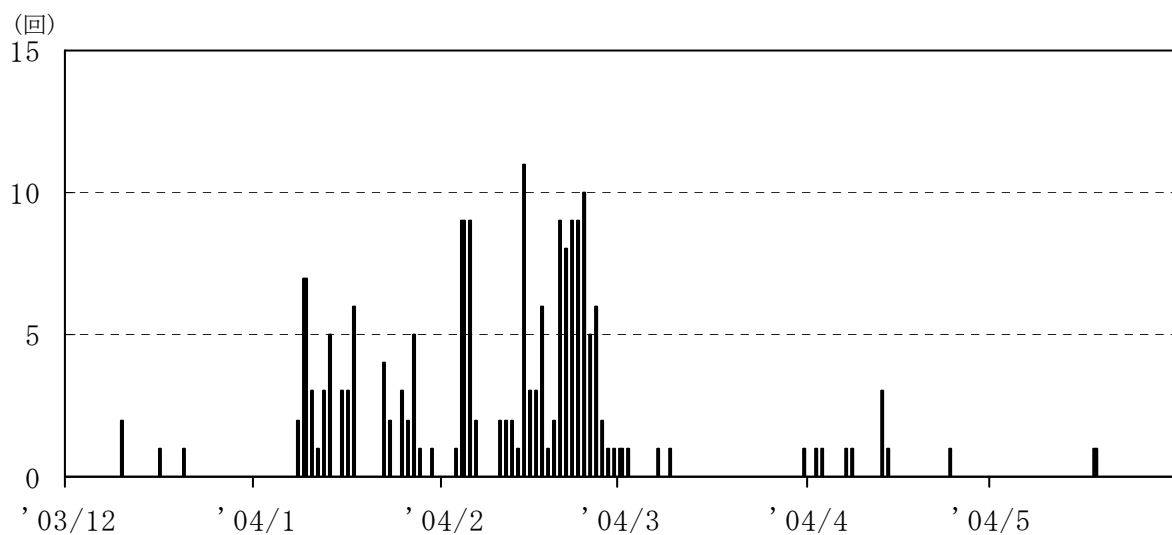


※2002年2月以前は定時及び随時観測データ。2002年3月以後は収録データにより全時間を精査。

* 1 この資料は、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、独立行政法人（産業技術総合研究所、防災科学技術研究所、海洋研究開発機構）、国土地理院、神奈川県温泉地学研究所、東京都、青森県、静岡県、横浜市及び気象庁のデータを基に作成しています。



吾妻山日別地震回数とその積算図
(2001 年 1 月 1 日～2004 年 5 月 31 日)



吾妻山における比較的振幅の大きい地震の日別地震回数
(2003 年 12 月 1 日～2004 年 5 月 31 日)